

令和3年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
土壌肥料部会 秋季研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 土壌肥料部会長
中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域長 大脇 良成

1. 趣旨

SDGs や環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっている。農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を令和3年5月に策定しており、この動きと連携した技術開発を加速する必要がある。そこで、関東東海北陸地域における土壌肥料分野の取り組み状況を紹介し、今後の研究方向性について検討する。

2. 開催日時 令和3年10月11日(月) 13:00 ~ 16:45

3. 開催場所

WEB開催による。配信場所：AP東京丸の内会議室 (Tel:03-5224-5109、住所：東京都千代田区丸の内1丁目1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F)

4. 共催 関東東海土壌肥料技術連絡協議会

5. プログラム

テーマ：「みどりの食料システム戦略」推進に向けた土壌肥料分野の取り組み

1) 「みどりの食料システム戦略」の概要

井原 啓貴 氏 (農水省 農林水産技術会議事務局)

2) 減化学肥料に向けた取り組み

座長：大脇 良成 (農研機構 中日本農業研究センター)

(1) 緑肥を利用した減化学肥料栽培 (仮)

唐澤 敏彦 氏 (農研機構 中日本農業研究センター)

事例報告：愛知県の露地野菜における緑肥の利用技術

山本 拓 氏 (愛知県農業総合試験場)

(2) 堆肥の高度利用技術 (仮)

荒川 祐介 氏 (農研機構 九州沖縄農業研究センター)

事例報告：混合堆肥複合肥料を利用した葉物野菜の栽培

中村 明弘 氏 (静岡県農林技術研究所)

3) 温室効果ガス削減に向けた取り組み

座長：白戸 康人 氏 (農研機構 農業環境研究部門)

(1) バイオ炭による農地 CO₂貯留

須藤 重人 氏 (農研機構 農業環境研究部門)

事例報告：山梨県における4パーミル・イニシアチブの取り組み

長坂 克彦 氏 (山梨県農政部)

(2) 土壌管理による温室効果ガスの削減

秋山 博子 氏 (農研機構 農業環境研究部門)

事例報告：農耕地土壌からの温室効果ガス排出を抑制する手法について

白鳥 豊 氏 (新潟県農業総合研究所)

4) まとめ・総合討議

6. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省農産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、農研機構、その他部会長が認めるもの

7. 連絡先

事務局：農研機構中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 徳田 進一
(TEL：029-838-8826、E-mail：sytoku@affrc.go.jp)

8. その他

参加申込み等については、別途連絡する。